

# 全国センターだより

2022 WINTER

vol.

# 101



- 巻頭言 …………… 市民の力を背に受けて
- 年頭の挨拶
- 令和3年 全国暴力追放運動中央大会
- 令和3年度暴追センター専務理事・事務局長等研修会

# センターだより

## 東 西 南 北

### ホームページの全面改訂と地域 暴排組織との連携活動について

(公財)岩手県暴力団追放推進センター

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により暴追県民大会の開催中止が相次ぐ中で、岩手県は比較的感染者数が少ないこともあって、感染対策を徹底し例年と同じ規模で開催することができました。しかし、今年度はより悪性度の強いデルタ株が猛威を振るう状況となり、やむなく開催を断念しました。

各県センターも同様でしょうが、この影響は不当要求防止責任者講習にも及び、公共施設の利用制限による会場確保や感染防止対策徹底のため、例年にはない大きな負担となっております。しかし、全国的に責任者講習での感染クラターの発生がないのは、各県センターそれぞれの努力と苦勞があったのことと考えます。

このような状況下での当県の活動について、二つほど紹介いたします。

#### 1 ホームページの全面改訂

スマートフォンが広く普及し、スマートフォンでのインターネット利用者が増えていることから、スマートフォン対応機能の追加とウイルス対策のセキュリティ強化が必要と考え、新システムを取り入れたホームページの全面改訂を行いました。写真や内容を随時更新できる機能が追加され、利用者からは、「見やすくなったし欲しい情報に簡単にたどり着けて便利になった。」という意見が寄せられ、早速の効果が表れております。

#### 2 地域暴力団排除組織との連携

当県では、毎年県内の地域暴力団排除組織16団体と連絡会を開催しており、各事務局担当者と顔の見える関係を作りながら、暴力追放活動支援金交付による支援も含め、各地区の活動を側面から支援しております。主な活動例として、北上市では歳末のみかじめ要求阻止のチラシを作成・配付し、一関市では中学生を対象とした「暴力団から自分をまもるために」と題するリーフレットの作成・配付を行いました。

### 不当要求防止責任者講習の開催状況及び 暴力団追放啓発用ポスターの作成

(公財)神奈川県暴力追放推進センター

#### 1 不当要求防止責任者講習の開催状況

当センターの責任者講習は、神奈川県弁護士会民事介入暴力対策委員会所属の弁護士から「不当要求に対する対応要領」について、更に県警暴力団対策課員から「最近の暴力団情勢等」についての講義を行い、加えて不当要求対応要領のDVDの上映を行い、暴力団排除意識の高揚と対応要領の浸透を図っています。

令和2年度の責任者講習は、年間20回約2300人の受講者を予定していましたが、コロナ禍の影響による開催の自粛要請や施設の閉館等も重なり、感染防止対策上1回の受講者数を制限したことから、22回開催したものの、予定の半分(約1100人)の受講者数となりました。

令和3年度は、不当要求行為に対する対応要領の重要性に鑑み、徹底した感染防止対策を講じながら、責任者講習を30回に増やし、可能な限り多くの事業者の方が受講できるように務めています。

当センターでは、責任者講習の更なる充実を図るため、終了後受講者からアンケートを徴していますが、「対応要領が理解できた」「暴追センターなどの相談機関があり心強い」などの意見が寄せられており、県民の期待に応えられるよう、今後も職員一同センター業務に邁進して参ります。

#### 2 暴力団追放啓発用ポスターの作成

当センターでは、コーエーテクモゲームス(横浜市西区)及び神奈川県警察の協力を得て、スマホゲーム「三國志・霸道」の武将を起用した暴力団追放啓発用ポスターを作成、警察施設や駅、商業施設等に掲示して、暴排意識の浸透を図っています。



## 暴力追放愛知県民会議の活動紹介

(公財)暴力追放愛知県民会議

### 1 ホームページリニューアルと広報用暴排グッズの作成

県民会議ホームページを6年ぶりにリニューアルし、パソコンだけでなくスマートフォンからの検索時にも適切に画面表示できるように改良した他、賛助会員のみがアクセスできる「賛助会員専用サイト」を創設し、賛助会員以外の方との差別化を図りました。

また、広報用グッズの見直しを行い、「コロナ対策用マスク・抗菌ケース」「スマホ用スタンド」を各々5千個、「折りたたみ式携帯リュック」を2千個作成し好評を得ています。

### 2 暴力団離脱者の社会復帰支援活動

暴力団離脱者の社会復帰支援活動については、昨年4月に離脱者受入企業に支給する雇用給付金を6ヶ月最大30万円から1年間最大72万円に大幅に増額し、更に、雇用離脱者による損害を雇用後1年間に最大200万円まで保証する身元保証制度を創設しました。責任者講習受講者へのチラシ配布や地元ラジオ局を通じた広報活動に努めた結果、これまでに27の離脱者受入企業を確保することができました。また、警察本部組織犯罪対策課離脱者社会復帰対策係と連携して真正離脱者の把握と就労支援に努め、本年度に入ってこれまでに3人の離脱者を就労させています。今後も更なる受入企業と業種の拡大、離脱者の長期就労の定着化を図っていききたいと思っております。



### 3 不当要求防止責任者講習のオンライン化に向けた実施計画

コロナ感染禍の影響で不当要求防止責任者のオンライン化に向けた準備を進めており、これまでに令和4年度受講予定者等に対するアンケート調査を行い、80%以上の回答者が責任者講習のオンライン化を希望していることが明らかとなりました。必要機材、システムの予算化を図り、責任者講習の「効率化」と「効果」の二刀流を目指していきたくと考えています。

## 暴力追放三重県民センターの活動状況

(公財)暴力追放三重県民センター

令和3年度には、新型コロナウイルス感染の爆発的拡大により県内に緊急事態宣言が発令され、当センターの活動については「暴力追放三重県民大会」の中止を含めて、その多くを制限せざるを得ない状況にありましたが、そのような中でも、感染防止等に配慮して可能な限りの活動を推進しました。

活動制限による県民の暴力団排除意識の低下を防ぐため、コロナ禍での活用を特に意識したオリジナルの啓発物品(マスク、ウエットティッシュ、ポイントタッチキーホルダー等)を作製し、各種広報啓発活動に活用したほか、8月には地域暴排組織や警察等と共に、感染防止を徹底した上で、県内飲食店に対する暴排ローラーを実施しました。

暴力相談については、昨年10月末現在177件で、一昨年に比べると19件増加しています。177件のうち、約8割は企業等からの属性照会でしたが、暴力団からの離脱相談もあり、警察と協力してその対応に当たったほか、暴力団員が絡む事件相談においては、警察及び民暴弁護士と協力して事件検挙・被害回復につなげました。

責任者講習については、コロナ禍の下で、例年より遅れた出だしとなりましたが、受講者1,230人を目標として、マスク着用・検温・消毒等感染防止対策を徹底した上で実施しています。昨年10月末現在で受講者343人と厳しい状況にはありますが、オンライン講習等も視野に入れつつ、目標達成に向けて取り組むこととしています。

今後も、感染防止対策を十分図りながら、警察をはじめ関係機関、団体等と連携し、センターの存在意義や事業内容の重要性について、県民に対して一層の理解を求めるとともに、県民の総力を結集した暴力追放活動を強力に推進していきます。



## コロナ禍におけるセンターの活動状況

(公財)暴力追放高知県民センター

当センターにおいては、全国と同様に、現在のところ新型コロナウイルス感染症の拡大状況に一応は歯止めがかかっているものの、これまでの感染影響により、主要な行事や会議等の殆どが中止あるいは延期を余儀なくされるなど、事業活動全般に大きな支障をきたしました。

県内における暴力団勢力は、令和2年末現在で12組織、約60人（準構成員を含む）が把握されており、組織数、構成員数ともに年々減少傾向にあるとはいえ、未だ県内外において各種の資金源獲得活動を行いながら、一定の組織基盤を保有している状況にあります。

このような情勢の下、不当要求防止責任者講習業務では、感染防止対策の1つとして推奨されているオンライン講習の導入について、予算の確保や体制面の問題等から现阶段では導入に至っていませんが、受講者及び職員の感染防止のため、体温測定やマスクの着用の他、1会場あたりの受講者を50人以下に制限する一方、他行事を調整して講習回数を増加させることで年間の受講予定者数を何とかこなすことができている状況です。

また、暴力相談業務に関しましては、昨年中の受理件数212件の約92%にあたる195件が企業等からの属性照会であり、特別相談では前年比7件増の17件を受理し、公共工事に絡む協力金名目の金銭要求やえせ右翼による機関紙購読要求の他、元暴力団組員からの社会復帰に関する相談等にそれぞれ対応しています。

当センターにおいて毎年開催していた「暴力追放高知・県市民総決起大会」については、残念ながら昨年度に続き本年度も中止となりましたが、本年11月には第92回民事介入暴力対策高知大会と暴追大会の同時開催を予定しており、現在、高知弁護士会民暴委員会及び県警察等関係機関・団対との連携により各種の準備作業を進めていますので、各都道府県センターの皆様方の多数ご参加をお願い申し上げます。

現在のコロナ禍が一日でも早く終息し、全国のセンター業務の完全回復を祈念いたしますとともに、当センターにおきましても、「暴力団のいない安全・安心な社会」の実現のために今後尚一層努めてまいります。

## 鹿児島県暴追センターの主な活動紹介

(公財)鹿児島県暴力追放運動推進センター

### ○ オンラインによる不当要求防止責任者講習の開催

当センターの委託業務である「不当要求防止責任者講習」は、新型コロナ感染症防止対策に配慮しながら、昨年5月から計画的に開催していましたが、鹿児島県でも8月に過去最多となるコロナ感染症の陽性が確認されるなど、県内初の「まん延防止等重点措置」が適用され、一昨年度同様、講習会を中止せざるを得ない状況になりました。

本年度もコロナ禍における講習会の続行不能も懸念されていたことから、「オンライン講習に向けたシステム整備」の予算増額を認めていただき、手探り状態の中、Web会議システム「Zoom」を利用したオンライン講習を9月から開催することができました。

今後はコロナ感染状況を考慮しながら、臨時的開催と併せて定期的開催も実施する予定です。

### ○ 暴排広報用グッズの配布による広報啓発活動の実施

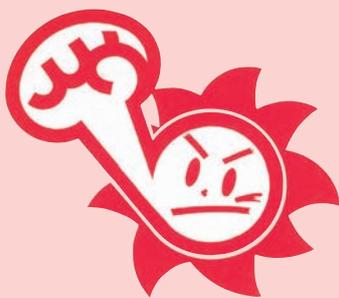
全国暴追センター製作の「暴力団排除ポスター」のデザイン画をプリントした暴排広報用グッズ「マウスパッド」を1,400枚製作し、当センターの役員のほか、賛助会員、暴排関係機関・団体等に配布し、広報活動を展開していますが、配布先の方々からは、郷土の偉人（西郷どん）の迫力あるデザイン画に好評をいただいております。

皆さんも御存知のとおり、幕末、近代日本の礎となった明治維新の成立に多大な功績を残した英傑の西郷隆盛が、デザインされたポスターを「西郷隆盛生誕の地」である鹿児島県で、暴力団追放意識の広報啓発活動に使用しない手はないと考え、製作配布しました。



今後も暴力団追放意識を減退させないよう、継続した広報啓発活動を実施する予定です。

終わりに、まだまだコロナ禍が続き、各種活動が制限される情勢ではありますが、引き続き、創意工夫した各種事業の推進に努めてまいります。



全国暴追センター・シンボルマーク  
『パンチくん』

## 都道府県暴力追放運動推進センター相談電話

(公財)北海道暴力追放センター <b>011-271-5982</b>	(公財)長野県暴力追放県民センター <b>026-235-2140</b>	(公財)岡山県暴力追放運動推進センター <b>086-233-2140</b>
(公財)青森県暴力追放県民センター <b>017-723-8930</b>	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター <b>054-283-8930</b>	(公財)暴力追放広島県民会議 <b>082-228-5050</b>
(公財)岩手県暴力追放推進センター <b>019-624-8930</b>	(公財)富山県暴力追放運動推進センター <b>076-421-8930</b>	(公財)山口県暴力追放運動推進センター <b>083-923-8930</b>
(公財)宮城県暴力追放推進センター <b>022-215-5050</b>	(公財)石川県暴力追放運動推進センター <b>076-247-8930</b>	(公財)徳島県暴力追放県民センター <b>088-656-0110</b>
(公財)暴力団壊滅秋田県民会議 <b>018-824-8989</b>	(公財)福井県暴力追放センター <b>0776-28-1700</b>	(公財)香川県暴力追放運動推進センター <b>087-837-8889</b>
(公財)山形県暴力追放運動推進センター <b>023-633-8930</b>	(公財)岐阜県暴力追放推進センター <b>058-277-1613</b>	(公財)愛媛県暴力追放推進センター <b>089-932-8930</b>
(公財)福島県暴力追放運動推進センター <b>024-572-6960</b>	(公財)暴力追放愛知県民会議 <b>052-883-3110</b>	(公財)暴力追放高知県民センター <b>088-871-0002</b>
(公財)茨城県暴力追放推進センター <b>029-228-0893</b>	(公財)暴力追放三重県民センター <b>059-229-2140</b>	(公財)福岡県暴力追放運動推進センター <b>092-651-8938</b>
(公財)栃木県暴力追放県民センター <b>028-627-2600</b>	(公財)滋賀県暴力追放推進センター <b>077-525-8930</b>	(公財)佐賀県暴力追放運動推進センター <b>0952-23-9110</b>
(公財)群馬県暴力追放運動推進センター <b>027-254-1100</b>	(公財)京都府暴力追放運動推進センター <b>075-451-8930</b>	(公財)長崎県暴力追放運動推進センター <b>095-825-0893</b>
(公財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター <b>048-834-2140</b>	(公財)大阪府暴力追放推進センター <b>06-6946-8930</b>	(公財)熊本県暴力追放運動推進センター <b>096-382-0333</b>
(公財)千葉県暴力追放県民会議 <b>043-254-8930</b>	(公財)暴力追放兵庫県民センター <b>078-362-8930</b>	(公財)大分県暴力追放運動推進センター <b>097-538-4704</b>
(公財)暴力追放運動推進都民センター <b>03-3291-8930</b>	(公財)奈良県暴力追放県民センター <b>0742-24-8374</b>	(公財)宮崎県暴力追放センター <b>0985-31-0893</b>
(公財)神奈川県暴力追放推進センター <b>045-201-8930</b>	(公財)和歌山県暴力追放県民センター <b>073-422-8930</b>	(公財)鹿児島県暴力追放運動推進センター <b>099-224-8601</b>
(公財)新潟県暴力追放運動推進センター <b>025-281-8930</b>	(公財)鳥取県暴力追放センター <b>0857-21-6413</b>	(公財)暴力追放沖縄県民会議 <b>098-858-8930</b>
(公財)山梨県暴力追放運動推進センター <b>055-227-5420</b>	(公財)島根県暴力追放県民センター <b>0852-21-8938</b>	



## 全国暴力追放運動推進センター

公益財団法人 全国防犯協会連合会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷信徳ビル 6 階  
TEL (03) 3868-0247 FAX (03) 3868-0257